

～認知症をささえる家族の会～ 『ごしきの会』

家族会は、心身の病気をもつ人を身内にかかえる家族が集まり、同じ悩みを語り合い、お互いにささえあう会です。

認知症をささえる家族の会「ごしきの会」では、認知症の方を介護する家族が集まって、相談や情報交換をしています。

会員同士の交流(定例会)

ごしきの会では、月に1回会員が集まり定例会を実施しています。日常生活の話、家族の介護をされていて感じる事等、自由に話したり、時には専門職の方を招いて認知症について知識を深めます。

仲間がいるという発見と、安心や癒しを得られる場です。



施設見学

年に1回、島内の施設を訪問見学を実施しています。現在さまざまな介護サービスがありますが、実際にどんな施設でどのように利用できるのかが気になる場所です。

そのような勉強の機会として、認知症に関連する施設を主に見学を実施しています。



家族会同士、当事者との交流

淡路島各地で家族会はたくさん存在しています。ごしきの会では、他の家族会や当事者の方とのイベントに参加し交流を深めています。

行事に参加することで親睦を深め、さらなる経験や日々の活力を得ることができます。



研修会

年に一度、一般の方も参加することができる講演会を実施しています。地域住民の方々と一緒に認知症について理解を深め、認知症をもった方やその家族が住み慣れた街で安心して暮らせるように取り組んでいます。



認知症をささえる家族の会「ごしきの会」定例会

開催日 : 毎月第2火曜日
午後1時30分～午後3時30分
場 所 : 洲本市五色地域福祉センター
(みやまホール2階 研修室)
参加費 : 無料



《お問い合わせ》

洲本市社会福祉協議会五色支部 (みやまホール内)
TEL 35-1166 【担当 林】
ごしき地域包括支援センター (健康福祉総合センター内)
TEL 33-0503 【担当 岡】



認知症サポーター養成講座受講希望の方もお問い合わせください!